

●多画面表示・P2P接続ソフト「HiP2P Client」編

本機取扱説明書は本書の他に別冊にて、

- はじめての方へ「かんたん説明書」→ 本機同梱
- 基本・設定・運用編 → 本機同梱
- 外部アクセス「Android・iPhoneアプリCamHi」編 → 弊社HPでDL
- 外部アクセス「グローバルIP・DDNS」編 → 弊社へお申込みください。
の合計 5 通になります。



取 扱 説 明 書

最新更新日：2016年12月

第1版

防犯カメラ・ネットワークSDカード録画カメラ【130万画素・最大SD200GB対応】

Windows7 , 8 , 10 対応説明書

- ライブ映像のモニタリング・画角確認はパソコン（IE11搭載のもの）が必要です。※別売モニタリングユニット経由で通常のモニタ接続可●

●本書概要●

本ソフトは本機カメラを最大 8 台までネットワーク接続を行い多画面分割（最大 8 分割）でパソコン上に表示する事が出来ます。

また本ソフトの最大の特徴である、P2P方式（カメラに付与されているパスワードを入力するだけで接続可能）で接続する事が出来ます。

当然、外部より本機カメラを本ソフトで監視する事が可能です（P2P方式接続のみでグローバルIP接続は出来ません）。

本ソフトは多画面モニタリングのみで、録画映像確認・カメラ内部設定は出来ません。。



筒型（ES-CW105SW/C）



ドーム型（ES-CD136SW/C）

このたびは、当社製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます御座います。

当取扱説明書をよくお読み頂き、正しく安全にご使用ください。

特に、取扱説明書内に記載しております電気安全事項は遵守していただきますよう、お願い申し上げます。

尚、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

取扱説明書更新履歴

- 第1版 2016年12月

1. ネットワーク接続上のご注意と免責事項



免責事項

- ① 機器の安全な取扱いについては別紙取扱説明書をご覧ください。
- ② 本書は基本的なインターネット接続方法をご紹介します。
セキュリティ上の懸念事項は極力特筆しておりますが、予想出来ない範囲のセキュリティ項目による障害が生じた場合。
- ③ ②に準じて、ネットワーク上の情報漏えいなどの障害が生じたとき。
- ④ 監視映像が誤って第3者にアクセスされた場合。
- ⑤ 本書上の設定でパソコン内の他機能に障害が生じたとき。
- ⑥ 回線契約・固定IPアドレス契約され、本書の通り設定を行っても接続出来ない時。
(責任分界点として、ルーター側設定はお客様による設定・準備の為)
- ⑦ 自然災害やインターネットを取り巻く機器異常により障害全般。
- ⑧ アクセスする側・される側のセキュリティ環境がP2Pを妨害する要素がある場合でP2Pアクセスが出来ない場合。
- ⑨ アクセスする側・される側ご契約のプロバイダーがP2P禁止などの措置を講じていて、P2Pアクセスが出来ない場合。

2. ローカル内アクセス準備編・IPアドレス（本機カメラ・パソコン）の確認・設定

ここでは同じ建物・宅内でP2Pアクセスする各機器設定方法です。

外部アクセスする場合は本項を読み飛ばして【P7】-「2. 外部アクセス準備編・IPアドレス（本機カメラ・パソコン）の確認・設定」へ進んでください。

④ IPアドレスの決定と設定

まずはIPアドレスの設定を確認します。

別冊同梱説明書「●基本・設定・運用編」の【P27】-「13. 【重要】お手元に届きましたら編（設置前にまずはお手元で映像確認）」の「手順1」～「手順5」を行ってください。

そしてカメラ1台1台にIPアドレスの設定を行います。

以下の説明は本機が複数台ある場合の設定例です。

IPアドレスは以下のルールがあります。

	1 区画	2 区画	3 区画	4 区画	
パソコンIPアドレス →	192	168	1	126	← 設定例
接続カメラ1 →	192	168	1	88	← 本機の初期設定値です。
接続カメラ2 →	192	168	1	89	複数台ある場合は、すべてのカメラの4区画目を違う値にします。この設定変更は別冊説明書「●基本・設定・運用編」の【P88】-「○IP Configuration Type」をご覧ください。
接続カメラ3 →	192	168	1	90	
接続カメラ4 →	192	168	1	91	

▼

ここは絶対同じにします。

デフォルトゲートウェイ以外はすべて異なる数値を設定します。
推奨値として、
11～250までの間で設定します。
当然、重複禁止です。

パソコンのIPアドレスの設定・変更は、

別冊説明書「●基本・設定・運用編」の【P28】-「●手順2：パソコン側ネットワーク設定」をご覧ください。

カメラのIPアドレスの設定・変更は、

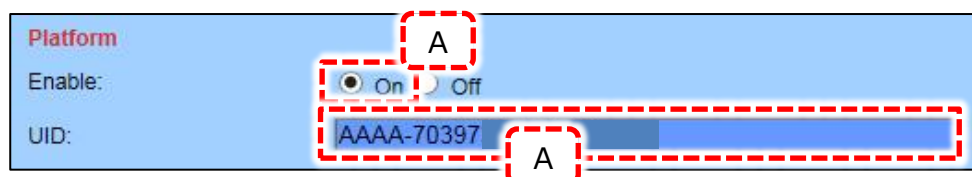
別冊説明書「●基本・設定・運用編」の【P88】-「○IP Configuration Type」をご覧ください。

またP2Pアクセスするにはカメラ1台1台に割り振られているP2P用のIDをメモしておく必要があります。

IDの確認方法は、

本機アクセス画面左サイド上部「Settings」→「Network」→「P2P」

の順にクリックすると以下の画面が表示されます。



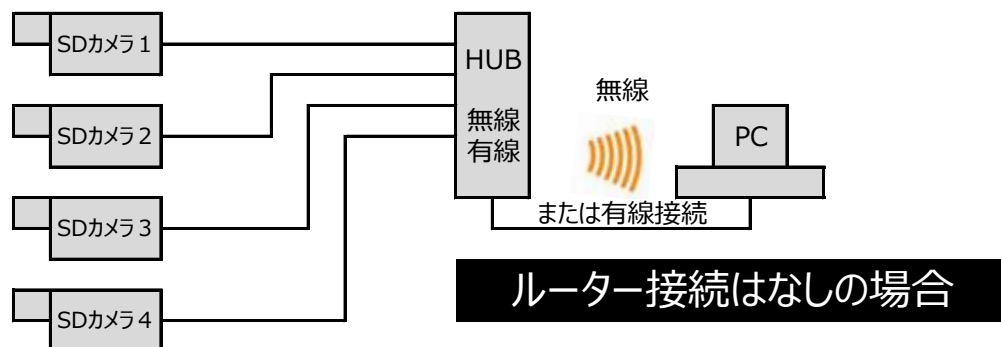
[A]は「ON」にして、[B]はメモしてください。

[B]はカメラ毎に違うので、どのカメラがどのUIDかはメモかマーキングを行っておいてください。

② ローカル内接続例

「ローカル内にあるカメラ」とは以下の配線である場合をいいます。
ポイントは映像を見るパソコンがカメラと直結（ハブ経由でも可）している状態を言います。
以下を参考に本機を配線・接続します。

▼ カメラ電源はアダプタまたはPoEハブ



③ 通信試験

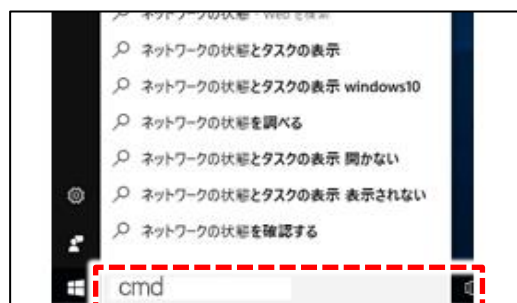
IPアドレスの設定が正常にされているか否かの試験を行います。
コマンドプロンプトの「ping」という試験で本機とパソコンの通信試験を行います。
まずコマンドプロンプトを起動します。
起動方法は以下の通りです。

▼Windows7,8の場合▼



▲ 検索欄に「cmd」と入力してエン

▼Window10の場合▼



▲ 「なんでも聞いてください」欄に「cmd」と入力してエンターを押します。

背景の黒い画面が表示されます。

「>」の後に半角で「ping」と入力し、半角スペースを1つ入れて、英数字で本機のIPアドレスである「192.168.1.88」を入力します。そしてエンターを押します。

```
管理者: C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation

C:\Users\¥>ping 192.168.1.88

192.168.1.88 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
192.168.1.88 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=64
192.168.1.88 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
192.168.1.88 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
192.168.1.88 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64

192.168.1.88 の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4, 受信 = 4,
    ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒):
        最小 = 0ms、最大 = 1ms、平均 =
```

▲
設定がすべて正常な場合は、このように「バイト数=〇〇 ~ TTL=〇〇」というような数値が表示

この試験をすべてのカメラについて行ってください。

▼通信試験が失敗した場合

```
192.168.1.128 からの応答: 宛先ホストに到達できません。
要求がタイムアウトしました。
要求がタイムアウトしました。
要求がタイムアウトしました。
```

通信試験が失敗した場合、「宛先ホストに到達できません。」「要求がタイムアウトしました。」というような表示になります。
この場合は、

- ① 本機のIPアドレスとpingで入力するIPアドレスは一致していますか？
- ② LANケーブルはきちんと接続されていますか？
- ③ 本機に電源は入っていますか？
- ④ 【P4】-「①IPアドレスの決定と設定」で設定したIPアドレスはすべて異なっていますか？
IPアドレスは1つでも重複があるとNGです。

これらを確認して再度通信試験を行ってください。

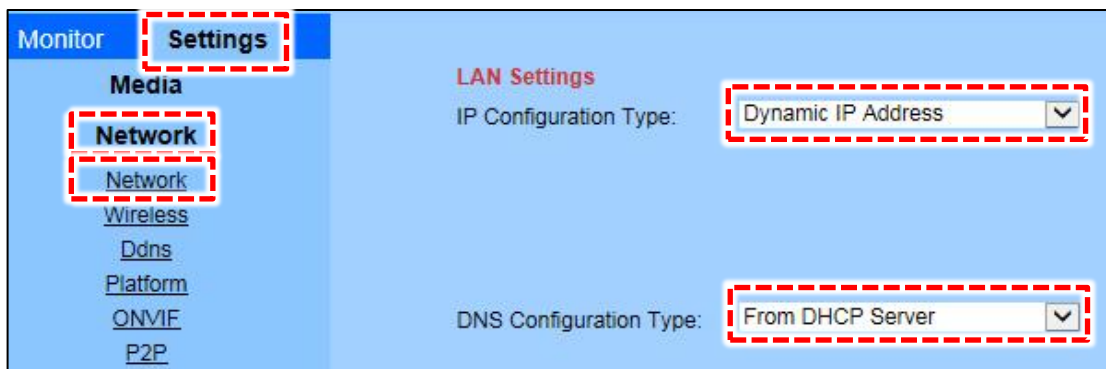
次の工程は【P9】-「3. 本機への映像の反映」なので、事項は読み飛ばしてください。

3. 外部アクセス準備編・IPアドレス（本機カメラ・パソコン）の確認・設定

ここでは外部より本器へP2Pアクセスする各機器設定方法です。
本機はルーターに接続する方式になります。

① 本機のDHCP設定の確認

この手法は下記写真のように「Network」設定が以下のようにになっている事が前提です。
尚、この設定の出荷時の状態は以下写真と同一ですので設定を変更していない限りはそのまま本項手順を行なっても問題ありません。

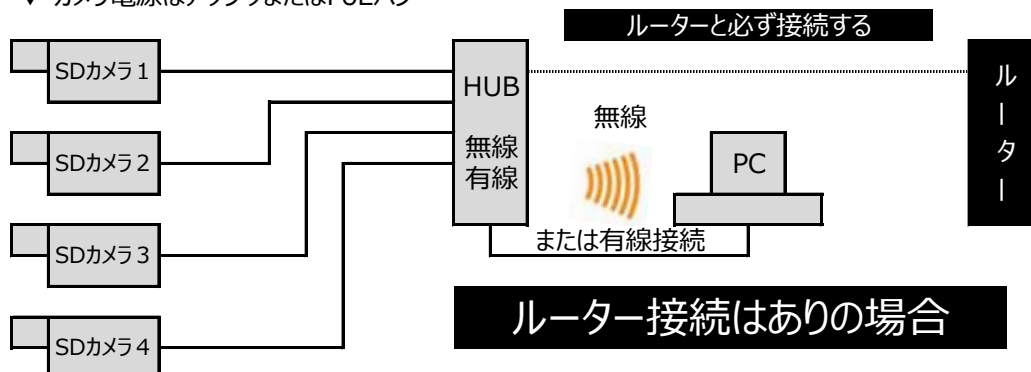


別冊説明書「●基本・設定・運用編」の【P103】-「32. 「From DHCP Serve」設定後の本機のIPアドレスの調べ方」の「手順 1」「手順 2」を行ってください。
その直後、次項のように本機をルーター接続します。

② ルーター接続例

「ローカル内にあるカメラ」とは以下の配線である場合をいいます。
ポイントは映像を見るパソコンがカメラと直結（ハブ経由でも可）している状態を言います。

▼ カメラ電源はアダプタまたはPoEハブ



③ 再び現在のローカル内IPアドレスの確認方法

別冊説明書「●基本・設定・運用編」の【P103】-「32. 「From DHCP Serve」設定後の本機のIPアドレスの調べ方」の「手順 3」を行ってください。
ルーターが認識している本機のIPアドレスが表示されています。

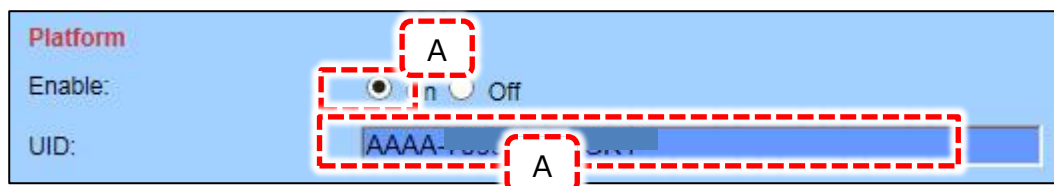
④ P2PのUIDの確認

前項「③再び現在のローカル内IPアドレスの確認方法」で確認した本機のIPアドレスを使って本機1台1台についてP2Pアクセス用のIDを確認しメモしておく必要があります。

IDの確認方法は、

本機アクセス画面左サイド上部「Settings」 → 「Network」 → 「P2P」

の順にクリックすると以下の画面が表示されます。



[A]は「ON」にして、[B]はメモしてください。

[B]はカメラ毎に違うので、どのカメラがどのUIDかはメモかマーキングを行っておいてください。

4. 「HiP2P Client」への映像の反映

本機カメラ映像を本ソフト上へ反映します。

P2Pアクセスで本機映像を閲覧するパソコンにソフトウェアをインストールします。

ソフトウェアのインストールは、別冊同梱説明書「●基本・設定・運用編」の【P68】-「27. ソフトウェアのインストール」をご覧ください。

起動方法も同ページより「HiP2P Client」を選択して起動してください。

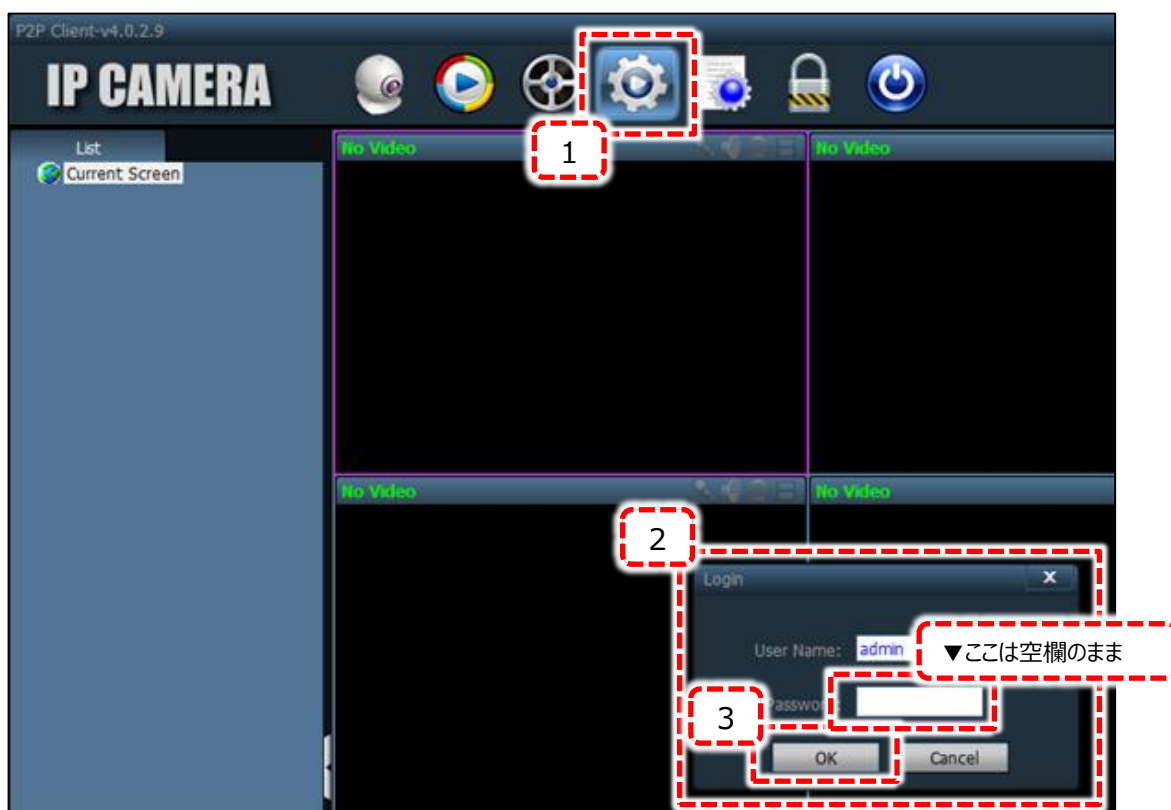
また本機にアクセスしてソフト上で映像を閲覧出来るパソコンは、

【P5】-「②ローカル内接続」の場合は、ローカル内のパソコンで可能。

【P7】-「②ルーター接続」の場合は、宅内・外出先問わずインターネットが出来るパソコンであれば可能。

です。

映像の反映手順ですが下記写真[1]から順番にクリックしてください。



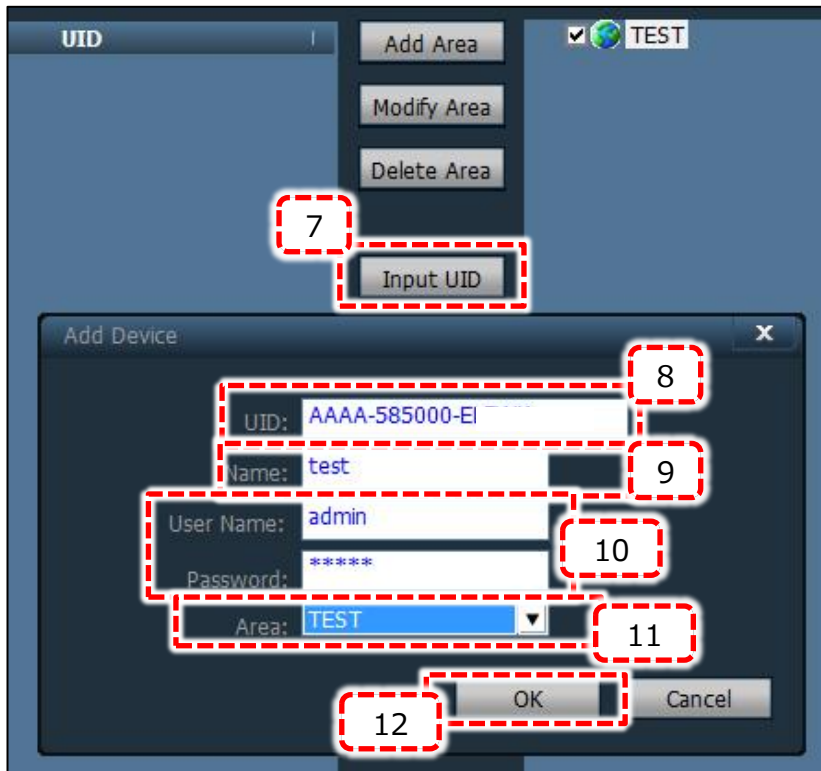
▲
上記写真は起動直後の画面です。

[1]をクリックすると[2]のログイン画面が表示されます。

「Password」欄は空欄で[3]の「OK」をクリックします。



[4]の「Add Area」をクリックします。
[5]に任意でグループ名を入力します。
[6]の「OK」をクリックします。



同じ画面で、

[7]の「Input UID」をクリックすると「Add Device」という画面が表示されます。

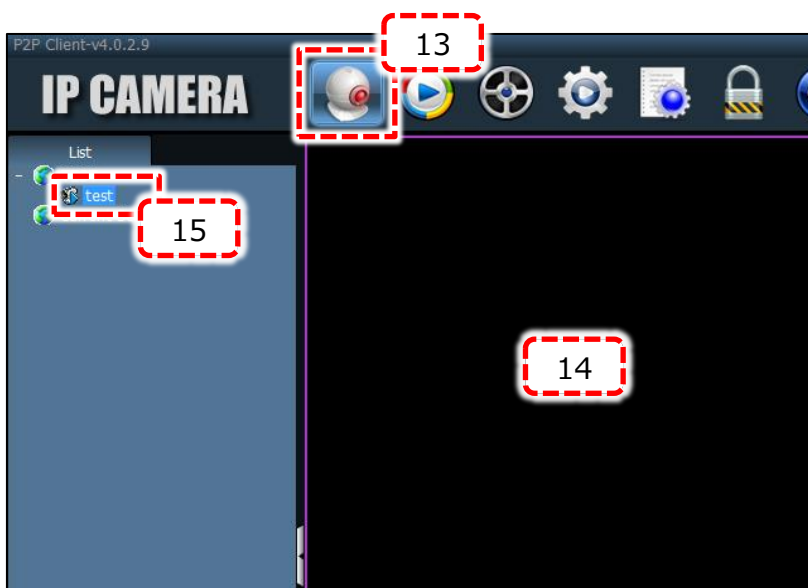
[8]の「UID」には、本機内部で確認したUIDを入力します。

[9]の「Name」はカメラの名前を任意で入力します。

[10]はアクセスするカメラのIDとパスワードです。変更をしていない限りは、両方「admin」と入力してください。

[11]は前項で設定したグループの選択をします。

[12]で「OK」をクリックします。



[13]をクリックして、ライブ画面に戻ります。

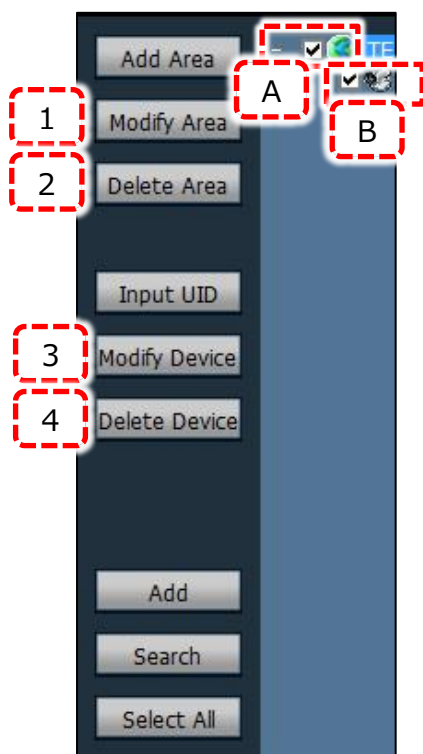
ライブ映像を反映させる分割箇所をクリックします。ここでは[14]の場所を仮にクリックします。

[15]部分に[9]で設定したカメラ名が表示されますので、それをWクリックすると[14]でWクリックした分割部分に映像が表示されます。

カメラが複数台の場合は、同じ作業を行います。

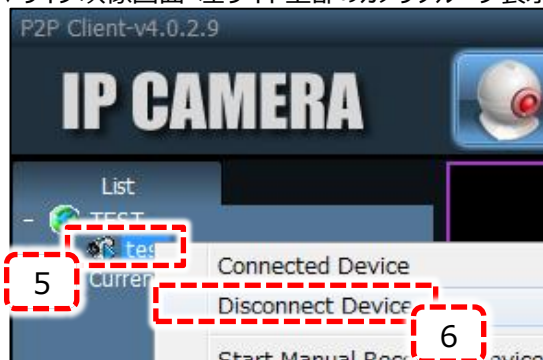
5. 「HiP2P Client」への映像の反映設定その他

本機への映像の反映設定その他のメニューのご説明です。

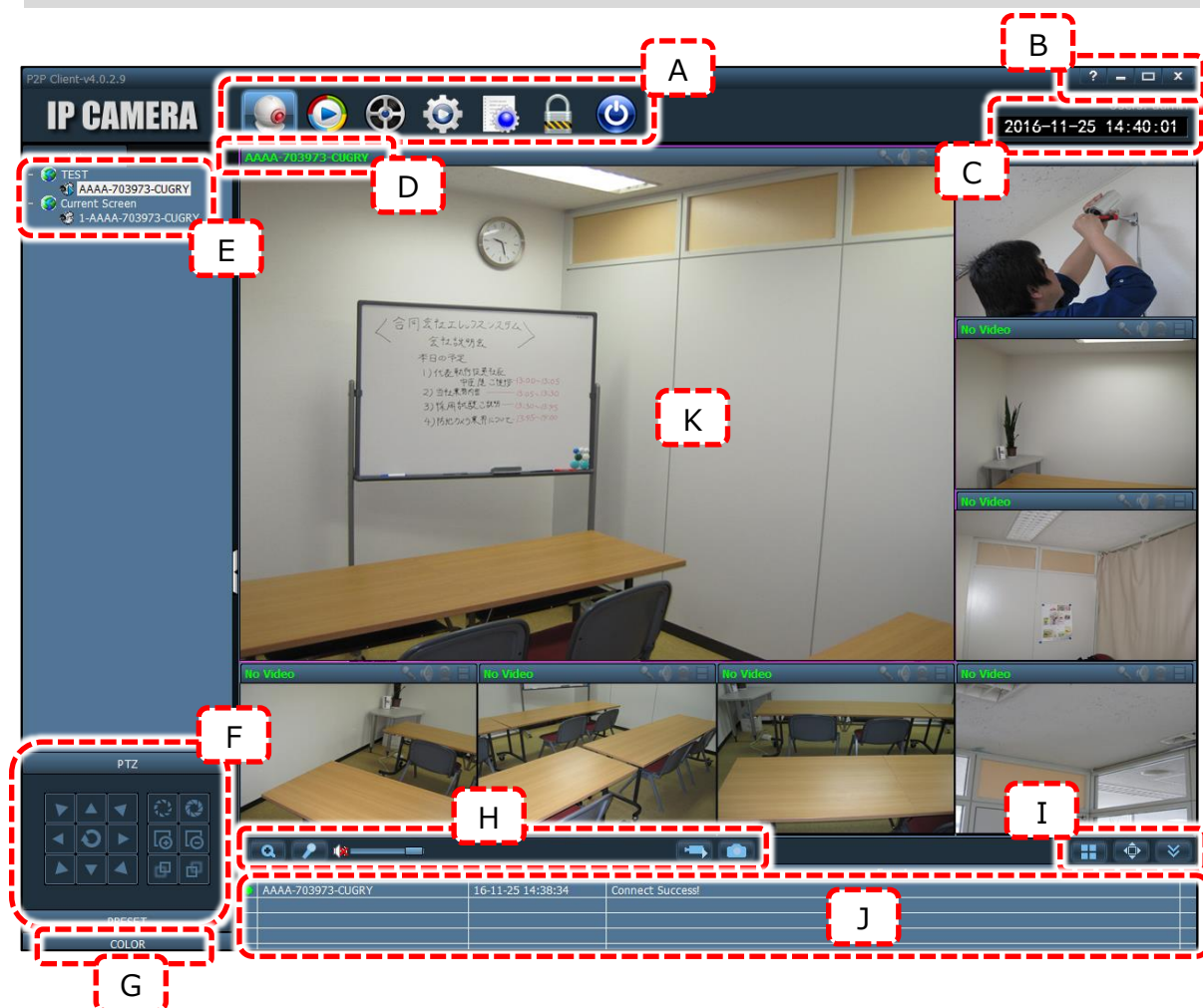


- [1] : [A]のチェックボックスをクリックしてグループ名を変更します。
- [2] : グループを削除します。
[5]をクリックして、右クリックをして[6]をクリックします。
そして[A]をクリックして[2]をクリックします。
- [3] : [B]のチェックボックスをクリックしてカメラ名を変更します。
- [4] : カメラ設定を削除します。
[5]をクリックして、右クリックをして[6]をクリックします。
そして[B]をクリックして[4]をクリックします。

▼ライブ映像画面・左サイド上部のカメラグループ表示部



6. ライブ映像画面の説明



[A] : メインメニュー



上記写真のようにライブ映像表示になります。



サポートされていない為、使用出来ません。



ローカル内アクセスの場合は、本機のmicroSDカードに録画されている映像を見る事が出来ます。外部アクセスの場合は使用出来ません。



本書【P9】-「4. 「HiP2P Client」への映像の反映」の設定を行います。



ログ（操作状況等）を表示・検索します。
（詳細説明省略）



ログアウト時はクリックするとログイン画面に、
ログイン時にクリックするとログアウト画面になります。



ログイン中でも強制的に本ソフトを閉じます。

[B] : 画面操作



? : サポートされていない為、使用出来ません。

— : 画面のみをデスクトップ上から一時的に消去します。

□ : 画面を最大サイズに表示します。

× : 本ソフトを閉じます。

[C] : 時刻

現在日時を表示します。
本ソフトを起動しているWindowsの時刻と同期しています。

[D] : UID表示

検索したUIDの表示になります。

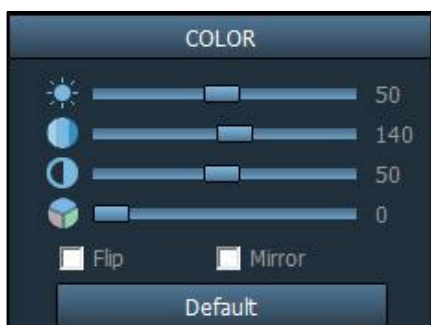
[E] : カメラグループ表示

【P10】-[H]～[L]で設定したグループが表示されています。

[F] : PTZ他

サポートされていない為、使用出来ません。

[G] : Color (映像色調整)



「COLOR」部分をクリックすると調整画面が表示されます。

ライブ映像の色などを調整します。
ライブ映像上で色調整するカメラをクリックして選択状態にします。

上から、

- ① 明るさ
- ② コントラスト
- ③ 色相
- ④ サポートされていない為、使用出来ません。

です。

「Flip」はライブ映像を上下反転、
「Mirror」はライブ映像を左右反転します。

「Defouit」は色設定を初期状態に戻します。

[H] : 録画・再生操作

サポートされていない為、使用出来ません。

[I] : ライブ映像操作



左より、

- ① 多画面分割表示
1・4・6・8 分割選択画面が表示されますので選択するとその分割画面にライブ映像が切り替わります。
- ② ライブ映像最大サイズ化
- ③ [J]部の表示／非表示を切り替えます。

[J] : 接続状態表示

現在、本ソフトに接続されているカメラの一覧です。

[K] : ライブ映像

現在、本ソフトに接続されているカメラのライブ映像です。
単画面で見たい映像をWクリックすると単画面表示になります。